

+DX認定試験 スキルレベル α2版 2024年1月リリース 発行:IoT検定制度委員会+DX認定プロジェクト

この資格は、DX推進を行うにあたり、世界情勢や不確実な社会の激しい変化に対応し、テクノロジーやデータなどデジタルを活用し、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革する、また自社の業務や、組織、プロセス、企業文化を風土を変革し、競争上の優位性を確立するため、ビジネスを企画・実行するために必要な、「DX推進を俯瞰し設計・実行する能力」を有しており、DX推進プロジェクト参加者として適切なコミュニケーションを行うことができる力を認定する。

- ・デジタル・トランスフォーメーションが理解できている
- ・DX推進のユーザーとしてプロジェクトに協力できる
- ・DX推進の役割として担当者や推進メンバーになれる
- ・他者/他社とDX推進を共有し、合意形成に参加できる
- ・DXプロジェクトの目的や効果を理解することができる
- ・生成AIを業務や仕事に活用することが理解できる

+DX出題比率

カテゴリ(大項目)	出題比率	内容	生成AI領域
1)革新性・創造性	20%	DX推進、デジタル・トランスフォーメーションなどの理解、イノベーション、スタートアップ、リーン手法など。	生成AIの将来: ・生成AIが進化する可能性とそれが社会に与える影響
2)実現性・計画性	20%	DX推進するための考え方や計画、実現するアイデアや構築システムの提示、PoCなど。	生成AIの使用法: ・生成AIの使用手法と基本的な操作方法 ・実務での生成AIの活用事例
3)生産性・付加価値	20%	必要となる技術やサービス(IoTやAIなど)の導入、デジタル化した場合の生産性や原価、人的レベルの考え方など。	生成AIの基礎知識: ・生成AIの基本概念、仕組み、使用の基本的な観点 ・生成AIを含むAIの主要な種類とその特性
4)継続性・人材育成	20%	DX推進を通じた事業の継続性や仕様変更などの変性、不確実な未来への対応、DXを推進する人材の育成として考え方・手法など。	生成AIの利用上の注意: ・生成AIを使用する際のセキュリティとプライバシー ・生成AIの使用における倫理的な課題とその対処法 生成AIの将来: ・生成AIが進化に与える影響 ・生成AI分野の継続的な学習とキャリアパス
5)共創・顧客視点	20%	社内・社外の連携、パートナーとの共創意識、合意形成など。顧客の価値に立脚した視点でのものづくりなど。	生成AIと仕事の結びつき: ・企業や業務における生成AIの活用方法とその価値 ・チーム内での生成AIの活用方法とコラボレーション

+DX認定試験 スキルマップ

分野	項目	スキル標準Lv1	キーワードLv1	生成系AI
革新性・創造性	DX概要	DX推進、デジタル・トランスフォーメーションなどの理解、イノベーション、スタートアップ、リーン手法など。	DX推進、DXとは、2025年の産	生成AIの将来: ・生成AIが進化する可能性とそれが社会に与える影響 自動化 機械学習 データ分析 自然言語処理 予測モデリング ニューラルネットワーク 深層学習
	革新		イノベーション、イノベーション・マネジメントシステム(ISO56002)	進化的アルゴリズム 強化学習 生成対抗ネットワーク 自強システム データプライバシー エッジコンピューティング クラウドベースAI
	創造		スタートアップ、リーンスタートアップ	バーチャルアシスタント コンテンツ生成 パーソナライゼーション デザイン最適化 インフラストラクチャ スマートレコメンデーション ユーザーエクスペリエンス
	手法		リーン、アジャイル、ウォーターフォール、BMC	バックプロパゲーション ドロップアウト 正規化 ハイパーパラメータチューニング クロスバリデーション フィチャーエンジニアリング シーケンスモデリング
	戦略		バランススコアカード、戦略立案、DX戦略、ビジョン、スマートファクトリー	データドリブン スケラビリティ オープンソース クロスプラットフォーム セキュリティファースト ユーザーセントリック アジャイル開発
実現性・計画性	企画	DX推進するための考え方や計画、実現するアイデアや構築システムの提示、PoCなど。	事業企画、ビジネスモデル、エンタープライズアーキテクチャ、AISAS、バリュチェーン、As-isTo-be	生成AIの使用法: ・生成AIの使用手法と基本的な操作方法 ・実務での生成AIの活用事例
	検証		PoC	ニーズ評価 プロジェクトスコープ リソースアロケーション タイムライン設定 ステークホルダーエンゲージメント リスク評価 イノベーションフォカス
	分析		ビジネスプロセス、ビジネスモデリング、ロール分析、QFT、9windows、リーンキャンパス、カスタマージャーニーマップ	プロトタイプ A/Bテスト ユーザーテスト データ整合性チェック パフォーマンス評価 セキュリティ監査 フィードバックループ
	外的要因		VUCA、アウトカム(成果) 情報セキュリティ	データ収集 パターン認識 KPIモニタリング リアルタイム分析 結果の可視化 洞察の抽出 レポート作成
	目標管理		KGI、KPI、OKR、成熟度モデル、プロジェクトマネジメント、サービスマネジメント	市場動向 技術進歩 法規制 競合分析 消費者行動 経済状況 グローバルイベント
	付加価値	必要となる技術やサービス(IoTやAIなど)の導入、デジタル化した場合の生産性や原価、人的レベルの考え方など。	効果金額、効果検証、モノのサービス化	SMART目標設定 ブログレスタッキング パフォーマンスレビュー キャリアブレーションミーティング モチベーション維持 コーチング 成果報酬
				生成AIの基礎知識: ・生成AIの基本概念、仕組み、使用の基本的な観点 ・生成AIを含むAIの主要な種類とその特性 効率向上 構成の向上 オートメーション カスタマイズ可能性 スケラビリティ イノベーション推進 ビジネスインサイト

生産性・付加価値	コスト		TCO、開発と運用、ダイナミックセル、マスカスタマイゼーション	初期投資 メンテナンス トレーニング スケールアップ リソース消費 ソフトウェアライセンス クラウドサービス
	技術		クラウド、AI(ML/DL)、5G、IoT、セキュリティの3要素 RPA、ノーコード/ローコード XR(VR/AR/MR)、ドローン、自動運転、ブロックチェーン、 データ分析、データ活用、量子コンピューティング	機械学習 ディープラーニング ニューラルネットワーク 自然言語処理 画像認識 データマイニング 予測分析
継続性・人材育成		DX推進を通じた事業の継続性や仕様変更など可変性、不確実な未来への対応、DXを推進する人材の育成として考え方・手法など。		生成AIの利用上の注意: ・生成AIを使用する際のセキュリティとプライバシー ・生成AIの使用における倫理的な課題とその対処法 生成AIの将来: ・生成AIが働き方に与える影響 ・生成AI分野の継続的な学習とキャリアパス
	運用		DevOps	セキュリティプロトコル データプライバシー システム監視 パフォーマンス評価 エラー対応 ユーザートレーニング バックアップ戦略
	ルール		ガバナンス	倫理ガイドライン コンプライアンス ユーザー同意 透明性 アカウントビリティ データガバナンス 著作権規制
	育成		リテラシ、リカレント教育 業務知識 事業承継 スキル管理	スキルアップ 継続的学習 メンターシップ ワークショップ オンラインコース 認定プログラム キャリアパスプランニング
	組織		プロジェクト型、マトリックス型、階層指示型、ティール組織、チームビルディング、ジョブ型人事制度	チームコラボレーション イノベーションカルチャー リーダーシップサポート リソースアロケーション プロジェクトマネジメント チェンジマネジメント 組織的学習
共創・顧客視点		社内・社外の連携、パートナーとの共創意識、合意形成など。顧客の価値に立脚した視点でのものづくりなど。		生成AIと仕事の結びつき: ・企業や業務における生成AIの活用方法とその価値 ・チーム内での生成AIの活用方法とコラボレーション
	構想		デザイン思考	ビジョン策定 イノベーション推進 デジタルトランスフォーメーション デジタルトランスフォーメーション サービス改善 プロダクト開発
	業務		業務知識、業界知識	データ駆動戦略 競争優位性 スケラビリティ カスタマーエンゲージメント オペレーショナルエクセレンス リスク管理 サステナビリティ
	戦略		アライアンス、M & A(事業売却・買収) 新会社設立 出資 資本政策、サービスマネジメント、顧客体験、CX	SLA(サービスレベルアグリーメント) コンプライアンス パートナーシップ ライセンス合意 プライバシーポリシー インテレクチュアルプロパティ エクスローアグリーメント
	契約		秘密保持、著作権、業務委託、個人情報	エクスペリエンス最適化 フィードバック収集 パーソナライゼーション ユーザージャーニーマッピング サポートサービス ユーザー教育 コミュニティビルディング
	ユーザー		UI/UX	ステークホルダー管理 コミュニケーションプラン チームアライメント コンセンサスビルディング ネゴシエーション コーポレートガバナンス プロジェクトチャーター
	合意形成		バックキャスト、フォアキャスト、ムーンショット、ファシリテーション、コミュニケーション力 ステークホルダー	アジャイル リーンスタートアップ デザイン思考 スクラム カンバン シックスシグマ
手法		プロジェクトマネジメント、アジャイル、リーン	エコシステム構築 コラボレーション ナレッジシェアリング メンターシッププログラム イベントとワークショップ アドボカシー	
コミュニティ		グループ、コミュニティ、チーム、オンライン、SNS		